

日時：令和6年4月19日(金)18時30分から20時10分まで

場所：文京シビックセンター20階 教育委員会室

【事務局からの説明】

○文京区立中学校部活動地域連携・地域移行に係る検討会議について

- ・互選により、青木教授に委員長をお願いする。

○文京区立中学校の部活動の現状について

- ・アンケート結果概要についての説明。
- ・顧問はいるが、その顧問は専門的な指導ができないという部活動が、運動部・文化部の両方にある。
- ・部活動の指導運營業務委託について、現地視察内容の説明。子どもたちからは、「専門的な指導が受けられるのは嬉しい」、「指導者が教員であるかどうかというのは問題ではない」などの声が聞かれた。

【主な意見等】

- ・教員とのつながりを確保するという意味での部活動については、どう考えるか。
 - －専門的な指導については、現状難しい。学校においても複数体制での部活動を維持するのは難しい。アンケート結果も参考にしてもらいたい。
- ・部活動の運営を外部に委託するときは、学校主導型でやるのか、地域のクラブ主導型でやるのか、校長会の考えなどを聞きながらロードマップに落とし込む必要がある。
- ・「指導員」と「補助員」の違いを教えてください。
 - －指導員は顧問に代わって技術指導や運営することができ、引率もできる。補助員は顧問、指導員がいる中で、指導を補助するのが役割である。
- ・「委託」というと全てが事業者任せのように見えるが、指導者と話しをした上で内容を決めており、委託することのメリットは大きい。

○地域連携・地域移行のあり方

【主な意見等】

- ・学校だけで専門的な指導ができる指導者を安定的に確保するのが難しくなっており、地域で見えていくという発想に変えていくことが大事である。しかし、今の親世代から上の方々は、部活動は学校で行われるものと考えている人が多いと思われるので、そのような方々の理解をどのように得ていくかが大事である。
- ・この部活動をやりたいという思いと現状が合っていない。広いスペースが必要な部活動については、ソフト面だけでなく、ハード面の確保も課題となる。
- ・教師、子ども、地域すべての思いを叶えるのは難しい。どうバランスをとるかがポイントとなる。
- ・教員の働き方改革が発端かもしれないが、地域の実情としては高齢化も進んでいる。すべての種目が委託できるわけでもなく、コスト面も含めて議論を深めていく必要がある。
- ・時代が変わり地域移行という方向性は間違っていないと思うが、人材の確保等に課題がある。

- ・外部指導員がいるから、教師の超勤が減るものでもない。教師の異動もあり、継続性が非常に悩ましい。
- ・外部に指導を委ねる際、保護者としては、どのような人が子どもに指導をするのかが気になる。
- ・部活動の地域移行に向けてイニシアティブを誰がとっていくのか。

○その他

- ・次回開催日程の確認